

1. 博多湾再生研究会

博多湾再生研究会は、福岡市の重要な自然環境資源である博多湾の生態系を保全・再生し、人と自然の共生を図り、循環型社会を構築していくために必要な情報交換、調査、研究、情報の発信等を行っていくことを目的として平成14年9月に設置した。会の性格は、産・学・官を問わない出入り自由の団体としている。

平成15年度の研究会の活動として、下記の勉強会及び視察報告を行った。

1) 勉強会

「九州の海草」

開催日：平成15年4月25日

講師：東京久栄 益原 寛文 氏

「下水の高度処理」

開催日：平成15年5月23日

講師：下水道局 坂井 恵一 係長

「港湾環境対策事業」

開催日：平成15年6月20日

講師：港湾局 大隈 俊之 係長

「底生生物の調査法」

開催日：平成15年8月29日

講師：九州環境管理協会 高比良光治 係長

「沿岸域の物理特性」

開催日：平成16年9月26日

講師：応用技術株 奥田 哲也 所長

2) 視察及び報告会

視察

場所：ラムサール湿地ソクラ・タレノイ野鳥保護区（タイ）

日程：平成16年1月31日～2月12日

コーディネーター：保健環境研究所

主席研究員 廣中 博見

参加者：8名

報告会

開催日：平成16年3月23日

報告者：保健環境研究所 廣中 博見

宮原 正太郎

今後の活動として、勉強会の継続とともに「アオサ対策部会」ではアマモの播種移植試験を実施することになっている。また「貧酸素部会」では水深を考慮した溶存酸素の解析、降雨による湾内への淡水流入や底層変化速度の解析を予定している。

2. 廃棄物のエコ処理研究プロジェクト

廃棄物のエコ処理研究プロジェクトは、地球環境を守り、持続的発展が可能な社会を形成するため、環境負荷への低減が可能な廃棄物の処理方法を開発することを目的として設置された。

平成15年度のプロジェクト内容は環境局内職員も含めた勉強会及び報告会、ごみ処理施設などの視察、調査研究等を行った。

1) 勉強会

「焼却灰によるスラグ製造・製品の利用」

開催日：平成15年6月13日

講師：(株)住友金属鉱山

「Arc GIS 8.3 セミナー」

開催日：平成15年7月23日

参加者：廃棄物試験研究センター職員

「食品の堆肥化技術」

開催日：平成15年8月8日

講師：九州大学 金澤教授

「GIS活用促進セミナー in 福岡」

開催日：平成15年8月20日

参加者：廃棄物試験研究センター職員

「食品の堆肥化技術」

開催日：平成16年3月10日

講師：九州大学 金澤教授

「自治体のGIS活用事例と調査研究の評価」

開催日：平成16年3月18日

講師：九州大学 江崎教授

2) 視察

山口県宇部市焼却灰資源化施設等視察

視察日：平成15年6月23日

福岡県志摩町小学校生ごみ処理施設視察

視察日：平成15年11月5日

九州大学生ごみ処理施設施設視察

視察日：平成16年3月1日

熊本県西合志町小学校生ごみ処理施設視察

視察日：平成16年3月17日

宮城県村田町堆肥化施設視察

視察日：平成16年3月22日

北海道北空知衛生センター等視察

視察日：平成16年3月23日

3) 報告会及び説明会

平成15年度保健環境研究所委員会中間報告

開催日：平成15年12月4日

- ・ GIS 廃棄物情報マップの構築について
- ・ 生ごみ処理の実態調査

廃棄物試験研究センター報告会

開催日：平成 15 年 12 月 19 日

- ・ 福岡市清掃工場におけるごみ組成調査からみたペットボトル分別収集制度の効果
- ・ 全地球測位システム（GPS）及び地理情報システム（GIS）を活用した家庭ごみ収集情報解析システムについて
- ・ 南部工場最適化運転について（i プロジェクト）

廃棄物情報マップ実証試験中間報告

開催日：平成 15 年 12 月 15 日

廃棄物情報マップ実証試験報告及び平成 16 年度実

施説明会

開催日：平成 16 年 2 月 13 日

- ・ 家庭ごみ収集委託業者説明会

廃棄物情報マップ実証試験報告及び平成 16 年度実

施説明会

開催日：平成 16 年 3 月 3 日

- ・ 工場等関係施設職員説明会

4) 調査研究

GIS 廃棄物情報マップの構築について

南区で収集している業者のごみ収集車両に GPS を搭載し、ごみネットのデータと連携させ、廃棄物情報マップの構築を目指している。

有機性廃棄物の資源化方法及び効果に関する調査研究

コンポスト施設の実態調査並びに有機性廃棄物の最適処理条件の調査を行っている。